

福祉用具専門相談員講習課程

(講習事業名 :)

科 目 名	内 容
1 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割	
(講義)	<p>(1) 福祉用具の役割 (時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉用具の定義と種類 ○福祉用具の役割 ○福祉用具の利用場面
(講義)	<p>(2) 福祉用具専門相談員の役割と職業倫理 (時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護保険制度における福祉用具専門相談員の位置付けと役割 ○福祉用具専門相談員の業務内容 ○福祉用具専門相談員の職業倫理と介護サービス事業者としての責務
2 介護保険制度等に関する基礎知識	
(講義)	<p>(1) 介護保険制度等の考え方と仕組み (時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護保険制度等の目的と仕組み ○地域包括ケアの考え方
(講義)	<p>(2) 介護サービスにおける視点 (時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権と尊厳の保持 ○ケアマネジメントの考え方
3 高齢者と介護・医療に関する基礎知識	
(講義)	<p>(1) からだとこころの理解 (時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○加齢に伴う心身機能の変化の特徴 ○認知症の人の理解と対応 ○感染症と対策
(講義)	<p>(2) リハビリテーション (時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リハビリテーションの基礎知識 ○リハビリテーションにおける福祉用具の役割
(講義)	<p>(3) 高齢者の日常生活の理解 (時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常生活について ○基本的動作や日常生活動作（ADL）の考え方
(講義・演習)	<p>(4) 介護技術 (時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常生活動作（ADL）における基本的な介護技術
(講義・演習)	<p>(5) 住環境と住宅改修 (時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の住まい ○住環境の整備 ○介護保険制度における住宅改修

4 個別の福祉用具に関する知識・技術

（講義・演習）	(1) 福祉用具の特徴 （ 時間）	○福祉用具の種類、機能及び構造 ○基本的動作と日常の生活場面に応じた福祉用具の特徴
（講義・演習）	(2) 福祉用具の活用 （ 時間）	○各福祉用具の選定・適合技術 ○高齢者の状態像に応じた福祉用具の利用方法
（講義・演習）	(3) 福祉用具の安全利用とリスクマネジメント （ 時間）	○福祉用具利用安全に関わる情報収集の重要性と具体的方法 ○福祉用具事業者の事故報告義務 ○危険予知とリスクマネジメントの取組

5 福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識及び支援に関する総合演習

（講義）	(1) 福祉用具の供給とサービスの仕組み （ 時間）	○福祉用具の供給やサービスの流れ ○福祉用具サービス提供時の留意点 ○福祉用具の整備方法
（講義・演習）	(2) 福祉用具による支援プロセスの理解・福祉用具貸与計画等の作成と活用 （ 時間）	○福祉用具による支援と P D C A サイクルに基づく手順の考え方 ○福祉用具貸与計画等の意義と目的 ○福祉用具貸与計画等の記載内容 ○福祉用具貸与計画等の活用方法 ○モニタリングの意義と方法 ○状態像に応じた福祉用具の利用事例（福祉用具の組合せや利用上の留意点、見直しの頻度、医療・介護・地域資源との連携方法等） ○事例による総合演習
合 計		（ 時間）

※ 「3(1) からだとこころの理解」、「3(4) 介護技術」、「4(1) 福祉用具の特徴」、「4(2) 福祉用具の活用」、「5(2) 福祉用具による支援プロセスの理解・福祉用具貸与計画等の作成と活用」の科目については、内容を分けて講義・演習を行うことができるものとする。内容を分けた場合の時間数については、30分を下限として設定すること。

その際には、枝番を付番することとし、内容欄に枝番ごとの内容及び時間数を記載すること。

記載例

(別添2-1)

科目ごとの時間は、記載された時間数を下回ることはできない。
(講義)

福祉用具専門相談員講習課程

() ○○○○)

科 目	内 容
1 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割	
〈講義〉	(1) 福祉用具の役割 (1時間) ○福祉用具の定義と種類 ○福祉用具の役割 ○福祉用具の利用場面
〈講義〉	(2) 福祉用具専門相談員の役割と職業倫理 (1時間) ○介護保険制度における福祉用具専門相談員の位置付けと役割 ○福祉用具専門相談員の業務内容 ○福祉用具専門相談員の職業倫理と介護サービス事業者としての責務
2 介護保険制度等に関する基礎知識	
〈講義〉	(1) 介護保険制度等の考え方と仕組み (2時間) ○介護保険制度等の目的と仕組み ○地域包括ケアの考え方
〈講義〉	(2) 介護サービスにおける視点 (2時間) ○人権と尊厳の保持 ○ケアマネジメントの考え方
3 高齢者と介護・医療に関する基礎知識	
〈講義〉	(1) からだとこころの理解 (6.5時間) ○加齢に伴う心身機能の変化の特徴 ○認知症の人の理解と対応 ○感染症と対策
〈講義〉	(2) リハビリテーション (2時間) ○リハビリテーションの基礎知識 ○リハビリテーションにおける福祉用具の役割
〈講義〉	(3) 高齢者の日常生活の理解 (2時間) ○日常生活について ○基本的動作や日常生活動作(ADL)の考え方
〈講義・演習〉	(4) 介護技術 (4時間) ○日常生活動作(ADL)における基本的な介護技術
〈講義・演習〉	(5) 住環境と住宅改修 (2時間) ○高齢者の住まい ○住環境の整備 ○介護保険制度における住宅改修

科目的内容を分けた場合は、枝番を付け、科目名称及び内容についても違いが分かるように記載すること。

4 個別の福祉用具に関する知識・技術

（講義・演習）	(1) ①福祉用具の特徴 (起居、移動、移乗、床ずれ、排せつ関連用具) (4時間)	○起居、移動、移乗、床ずれ、排せつ関連の福祉用具の種類、機能及び構造 ○基本的動作と日常の生活場面に応じた起居、移動、移乗床ずれ、排せつ関連の福祉用具の特徴
（講義・演習）	(1) ①福祉用具の特徴 (入浴、食事・更衣・整容、コミュニケーション・社会参加関連用具) (4時間)	○入浴、食事・更衣・整容、コミュニケーション・社会参加関連の福祉用具の種類、機能及び構造 ○基本的動作と日常の生活場面に応じた入浴、食事・更衣・整容、コミュニケーション・社会参加関連の福祉用具の特徴
（講義・演習）	(2) ②福祉用具の活用 (起居、移動、移乗、床ずれ、排せつ関連用具) (4時間)	○起居、移動、移乗、床ずれ、排せつ関連の福祉用具の選定・適合技術 ○高齢者の状態像に応じた起居、移動、移乗、床ずれ、排せつ関連の福祉用具の利用方法
（講義・演習）	(2) ②福祉用具の活用 (入浴、食事・更衣・整容、コミュニケーション・社会参加関連用具) (4時間)	○入浴、食事・更衣・整容、コミュニケーション・社会参加関連の福祉用具の選定・適合技術 ○高齢者の状態像に応じた入浴、食事・更衣・整容、コミュニケーション・社会参加関連の福祉用具の利用方法
（講義・演習）	(3) 福祉用具の安全利用とリスクマネジメント (1.5時間)	○福祉用具利用安全に関わる情報収集の重要性と具体的方法 ○福祉用具事業者の事故報告義務 ○危険予知とリスクマネジメントの取組

5 福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識及び支援に関する総合演習

（講義）	(1) 福祉用具の供給とサービスの仕組み (3時間)	○福祉用具の供給やサービスの流れ ○福祉用具サービス提供時の留意点 ○福祉用具の整備方法
（講義・演習）	(2) 福祉用具による支援プロセスの理解・福祉用具貸与計画等の作成と活用 (10時間)	○福祉用具による支援とP D C Aサイクルに基づく手順の考え方 ○福祉用具貸与計画等の意義と目的 ○福祉用具貸与計画等の記載内容 ○福祉用具貸与計画等の活用方法 ○モニタリングの意義と方法 ○状態像に応じた福祉用具の利用事例（福祉用具の組合せや利用上の留意点、見直しの頻度、医療、介護、地域資源との連携方法等） ○事例による総合演習
合 計		（53時間）

※ 「3(1) からだとこころの理解」、「3(4) 介護技術」、「4(1) 福祉用具の特徴」、「4(2) 福祉用具の活用」、「5(2) 福祉用具による支援プロセスの理解・福祉用具貸与計画等の作成と活用」の科目については、内容を分けて講義・演習を行うことができるものとする。内容を分けた場合の時間数については、30分を下限として設定すること。

その際には、枝番を付番することとし、内容欄に枝番ごとの内容及び時間数を記載すること。